

## 手作り紙芝居

# 英知の宝冠——名誉学術称号

### 1 枚目／「名誉学術称号」とは（7枚目の絵の裏に貼る）

今回は池田先生が世界から受章されてきた「名誉学術称号」について学びましょう。大学や学術機関における「名誉学術称号」とは、社会に貢献し、学問の発展に尽くした人物に対して授与されるものです。また、「名誉学術称号」の授与は、優れた人物を大学の一員として迎えるため、その大学の名誉ともなるのです。

### 2 枚目／第1号の「名誉学術称号」（1枚目の絵の裏に貼る）

池田先生への「名誉学術称号」授与の第1号となったのは1975年、モスクワ大学からの「名誉博士号」でした。

この前の年に、池田先生はモスクワ大学からの招聘を受け、初めてソビエト連邦（当時。以下、ソ連）を訪れます。冷戦の真ただ中の当時、多くの日本人は社会主義国・ソ連に脅威を感じ、そのイメージは決して好ましいものではありませんでした。「信者もない宗教否定の国に、なんで行くのか」など、訪ソを批判する声が相次ぐ中、池田先生は「そこに人間がいるからです」と語り、世界平和の幕を開くためにソ連への第一歩を厳然とするされたのです。

### 3 枚目／「人間主義」の哲学と行動を高く評価（2枚目の絵の裏に貼る）

池田先生はソ連の地で、コスイギン首相やノーベル賞作家のショーロホフ氏、そして無名の庶民とも率直な対話を重ね、友情と信頼を深めていきました。さらに池田先生は帰国後、新聞や雑誌への寄稿を通して「ソ連の人々も平和を願う同じ人間である」ことを訴え、ソ連との文化・学術交流を推し進めるなど、日ソの懸け橋として行動を起こしていきました。

こうした池田先生の「人間主義」の哲学と行動を高く評価したモスクワ大学が、「名誉博士号」の授与を決定したのです。

4枚目／世界五大州からの栄誉 (3枚目の絵の裏に貼る)

池田先生に対する「名誉学術称号」の授与は、モスクワ大学にはじまり、いまや世界五大州の大学・学術機関にわたっています。北京大学(中国)、ブエノスアイレス大学(アルゼンチン)、グラスゴー大学(イギリス)、ヨルダン大学(ヨルダン)など、国や地域を代表する最高学府が、文化や宗教の違いを超えて池田先生の人類への多大な貢献を称えているのです。

こうした「名誉学術称号」は、大学や学術機関の厳正な審査と慎重な手続きをへて決定されています。

5枚目／世界の知性が称える授章 (4枚目の絵の裏に貼る)

モスクワ大学の「名誉博士号」も、厳正な審査をへて、教授会が全会一致で授与を決定しました。一方、池田先生が名誉学術称号を受章されたことに対する日本の一部のマスコミの悪質な中傷に対してモスクワ大学のストリジャック教授は、「取材もしないで、証拠も示さずに、憶測で批判するようなマスコミがいたら、池田先生にも私たち関係者にも失礼だと思えます」と明確に語っています。

池田先生と対談したイギリスの歴史学者のトインビー博士が「あなたは必ず私以上に、世界中から名誉博士号を贈られるようになるでしょう」と語っていた通り、池田先生への名誉学術称号の授与は350を超えました。

6枚目／戸田大学での薫陶 (5枚目の絵の裏に貼る)

世界のあらゆる立場の指導者と多彩な分野について対話を重ねる池田先生の人間外交は、10年にわたる「戸田大学」での薫陶がその基礎にありました。戸田先生は「いかなる指導者、学者と対話しても通用する力をつけておくからな」と、早朝や日曜日に若き日の池田先生に万般の学問の講義を授けました。池田先生は「私は、戸田大学に学んだことを生涯最高の誇りとする」とその心情を語っています。

7枚目／一人の勝利が万人の勝利を開く (6枚目の絵の裏に貼る)

「名誉学術称号」のご受章の際に池田先生は「先師である牧口先生、恩師・戸田先生にこの栄誉を捧げたい」また、「世界のSGIの同志の皆様を代表してお受けしたい」としばしば語られています。

一人の弟子の勝利が万人の勝利を開くことになる。師匠にお応えしようと生涯をかけて行動してきた池田先生への世界からの賞賛は、師弟の勝利を証明しているのです。私たちがそれぞれの使命の舞台上で師弟勝利の証を打ち立てていきましょう。

決意など